

村野紀雄

1月5日に、冬の珍しい暴風雨があって、雪が雨で沈められ、その上に木の枝や、それまで樹上に残っていた木の実が数多く落下した。翌6日の朝、固くしまった雪の上をごむ長で歩く。

折られた木には悪いが、その散策の楽しいこと。

木冠の下に、色々な形をした種子や小枝が足の踏み場もないほど散らばっていて、白い雪の紙面に華やかに彩られている。

オオバボダイジュ、シナノキの飾り葉をつけた

果実が大、小のちがいをを見せて仲良く並んでいた、アズキナシの赤い実、センの黒い実、イタヤカエデの翼果、トドマツのまつかさの鱗片と種子など、まだこんなにも残っていたのかと思うほどだ。なかでも多いのはシラカンバの小さな飛行機のような形をした種子。雪面を無数に飛んでいて、雪面につけられたエゾユキウサギやキタキツネの足跡の中までとびこんでいる。

そして、日に鮮やかなのはアカミノヤドリギ。まるで雪面から生えたようにつき立ち、すきとおった赤実と黄緑の葉が雪にじんんでいる。

9日の降雪まで、そんな状態が続いた。

植物名由来「北海道地名解」

—第2回道植友講演会から—

松木 裸志

植物名由来のアイヌ名から付けられた北海道地名を集めてみた。植物名が学問的に厳密か或は総括的名称かは、同定を伴っていないので不明である。記述は、植物名、「」アイヌ名、意味、地名(読み、郡名)の順とした。

アシ、ヨシ、キタヨシ 「アッ・マト」葦の茂る湿地・厚真(あつま勇払郡)「ウライポロ」葦の多い所・浦幌(うらほろ十勝郡)「キオマップ」・清真布(きおまっぶ空知郡)「シ・キウ」葦のある所・敷生→竹浦(しきう→たけうら白老郡)「シュブキ・ベツ」矢材の葦の多い所・朱太川(しゅぶとがわ寿都郡)

カヤ・ヌマガヤ・ススキ 「サロ・ベツ」又は「サラ・オ・ベツ」茅の多い川口・サロベツ(宗谷郡) 猿別(さるべつ十勝郡、天塩郡、沙流郡) 更別(さらべつ十勝郡)「サラブツ」茅の生えた川・猿拂(さるふつ宗谷郡)「サロロ」茅の中の川・沙留(さるる紋別郡)「サロマ」・佐呂間(さろま常呂郡)「サロマ・トー」茅のある沼・佐呂間湖(さろま湖常呂郡)「サルプト」茅のある所・佐瑠太→門別(さるぶと→もんべつ沙流郡)「サルン・ベツ」斜里(しゃり・斜里郡)「サラキブ」鬼茅の密生する所・沢木(さわき紋別郡)

アサ 「ハイ・キト」麻や茅のある沼・早来(は

やきた勇払郡)

イチイ、オンコ 「ラルマキ」オンコの生えた土地・良留巻(らるまき古宇郡)

イチゴ 「エマウリ・オマレブ」イチゴのある沢・稀布、稀府(まれっぶ有珠郡)

エゾイラクサ 「モセ・ウシュ・ナイ」イラクサを採った所・妹背牛(もせうし雨龍、釧路、目梨、虻田各郡)「ハイ」繊維用のイラクサのある所・波恵→豊郷(はえ→とよごう沙流郡)「ノカ・ナン」イラクサやシナノキやオヒョウ等の繊維の、仕掛弓の糸を置く所・野花南(のかなん空知郡)

エゾネギ 「ニンビル・トマリ」アサツキの多い碓泊所・泊(とまり積丹郡)

エゾヤマザクラ 「カリンパ・ウシ」サクラの多い所・狩場、刈場(かりば瀬棚郡)

エゾラン 「ケニ・オマイ」黄花慈姑の根のある所・慶能舞→清島(けのまい→きよはた沙流郡)

エゾエンゴサク 「トマ・オマ・ナイ」エゾエンゴサクのある沢・苫前(とままえ苫前郡)「ブイ・オマブ」笛舞(ぶいまい幌泉郡)

エゾヤマハギ 「シキナイ」ハギのある所・関内(しきない有珠郡)

オオイタドリ 「クツタリウシ」「クツタラウシ」オオイタドリの多い所・屈足牛→新得(くつたりうし→しんとく上川郡) 俱多楽(くつたら虻田郡)

オオウバユリ 「アッ・タ・ベツ」オオウバユリを掘る所・虻田(あぶた虻田郡)

カツラ 「ランコ・タ・ウシ」「ラン・コウシ」

カツラを伐りとる所・蘭越（らんこし磯谷、浦河、日梨、千歳各部）

ギョウジャニンニク 「キト・ウシ」ギョウジャニンニクのある山・喜登牛（きとうし足寄郡）

クリ 「ヤムクシュナイ」栗の殻の沢・山越内（やまこしない山越郡）「クオナイ」栗の多い所・久保内（くぼない有珠郡）「ヤムベツ」栗のある川・止別（やんべつ斜里郡）栗の北限は岩見沢、別物と思われる。

コウホネ 「カバト」コウホネの多い沼や川・川戸→樺戸（かばと樺戸郡）

コンブ 「エサシ」昆布岩が沖にある・枝幸（えさし枝幸郡）「エタサシュ」昆布岬（紋別郡）「コンブ・カル・ウシ」昆布を採る所・昆布森（こんぶもり磯谷郡、十勝郡）「オコンブ・ウシュ・ベ」昆布場・黄金業→昆布（有珠郡）

ササ 「イクタラ」クマイザサの多い所・生田原（いくたわら紋別郡）

シラカンバ 「タト・ウシ・ナイ」シラカバの皮のある所・多度志（たどし雨龍郡）「タツニオラウシナイ」シラカバの高原の川・樺岡（かばわか宗谷郡）

シダ 「トアサ」ゼンマイやワラビの生える所・遠浅（とあさ勇払郡）

スガモ 「テンムンヤ」海草（スガモ）の寄せる所・手宮（てみや小樽市）

スモモ 「ヌム・オマ・ナイ」李の実の多い沢・桃内（ももない小樽市）

ツルニンジン 「ムカベツ」ツルニンジンを採る所・鶴川（むかわ沙流郡）

ツルボ 「ハルタウシュナイ」ツルボ草の多い所・春立（はるたち静内郡）

トドマツ 「フブ・ウシュ」トドマツの多い所・風不死（ふっぶし勇払郡他）「フブ・タ・ウシ」「フブ・カルシ」トドマツを切る所（宗谷郡、枝幸郡）

ナナカマド 「キキン」ナナカマドのある所・木橋、樹金（ききん網走郡）「ボン・キキン」少しナナカマドがある所・彌木倉→本岐（ほんき網走郡）

ナラ 「トン・ニ・カラブ」カシワの木を伐る所・富仁家（とみにか沙流郡）

ニレ、オヒョウニレ、ハルニレ「アμμα」ニレのある所・厚真（あつま勇払郡）「アッタ」ニレ

を採る所・厚田（あつた厚田郡）「アッ・ケシュ・トー」ニレの下の沼・厚岸湖（あつけしこ厚岸郡）「ニ・カブ」ニレの樹皮・新冠（にいかわぶ新冠郡）「ワットササム」ニレの木の傍・和寒（わっさむ上川郡）

ハマニンニク、テンキグサ 「ムリイ」ムリ草（穀物の殻のある所・無理、武利（むり留萌郡）

ハマエンドウ 「メナサルナイ」ハマエンドウの沢・女名猿内（めなざるない日梨郡）

ハリギリ 「アイ・ウシュ・ニ・ウシュ」ハリギリのある所・愛牛（あいうし十勝郡）

ハンノキ 「ケンニ・ウシ」ハンノキの山・見日（けんいち岩内郡）見市川（桧山郡）「キネ・タ・アンペ」ハンノキの手前の場所・杵端辺（きねたんべ網走郡）「ケネベツ」ハンノキのある川・剣淵（けんぶち上川郡）

ブドウ 「ハッタウシ」ブドウを採る沢・初田牛（はつたうし根室郡）「ハッチャ・ウシシ・ナイ」発茶志内→弥生（はっちゃしない→やよい上川郡）「シュツ・ナイ」ヤマブドウの沢・静内（しずない静内郡）

ウラビ 「ワランピ・フル」蕨のある小山・蕨岱（わらびだい山越郡）「ワランピ」蕨採集地のこと・（寿都郡）

その他 「ケナシ」林の意味・毛無山（けなし小樽）「ニタツ」沼地に木の生えている所・仁多津（にたつ）「シャタイベツ」前方に林のある川・社台（しゃだい白老郡）「サンマウ・ニ」枯木や朽木が漂う海岸・襟似（さまに襟似郡）「ニシタッパ」強い西風のため樹がいたむ所・錦多峰（にしたつぷ西達布郡）「オ・トイ・ネッパ」漂流木の推積する川岸・音威根布→音威子府（おといねっぶ中川郡）

参考文献

- 磯部精一（1918）：北海道地名解，富貴堂。
- 永田方正（1972）：北海道蝦夷語地名解 3版，図書刊行会。
- 札幌鉄道局業務部旅客課編（1947）：北海道「駅名の起源」
- 山田秀三（1970）：北海道の旅—国道5・36・37号線，北海道文化財保護協会編。
- 山田秀三（1972）：北海道の川の名，モレウライブラリー，札幌。